



体験する手外科【第2巻】 —変性疾患・腫瘍編—

鳥谷部 荘八 [著]

■B5判・432頁・定価 19,800 円 (本体 18,000 円 + 税)

■克誠堂出版, 2023 年 4 月

評者：櫻庭 実 (岩手医大形成外科)



ミラクル鳥谷部ワールドでベテラン術者の手術を追体験！

日本手外科学会のホームページに掲載された手外科専門医名簿によると、手外科専門医保有者数は 1,054 名で、このうち診療科に「形成外科」と明記されている医師数は約 80 名である。一方で形成外科の専門医は約 3,500 名おり、この中で手外科専門医資格を保有しているのは計算上約 2.3% となり、極めて少数派といえる。本書の著者は、その中で異才を放つ活躍をしている形成外科医であり、多くの整形外科医からも手外科専門医として一目置かれる存在である。

その著者が渾身の力を込めて執筆した「体験する手外科」シリーズの第 2 巻が本書である。本シリーズでは、手外科における代表的な疾患についての診断、治療、後療法など多岐にわたる診療が、あたかも読者が体験するように執筆されている。第 1 巻では「外傷」が取り上げられているが、1・2 巻ともに基本的に症例提示をベースとして、豊富な臨床写真と図解により各疾患の理解を深めるように工夫されている。また、必要に応じて手術のキモを動画で閲覧できることが大きな特長である。さらに、順調に経過した症例とそうでない症例を対比し、著者の反省も加味して症例を経験できる点は、他の医学書や手術書にはない解説手法である。本書を読んだ後には各疾患に対する理解が驚くほど深まっているはずである。

第 2 巻では「変性疾患」と「腫瘍」に的を絞って執筆されており、疼痛、運動障害、痺れなどの主訴を呈する代表的な 15 症例について、ばね指、手根管症候群、CM 関節症、de Quervain 病、Bouchard 結節、Herberden 結節、肘部管症候群、骨嚢腫、ガングリオン、神経鞘腫などさまざまな関連疾患と結びつけた解説がなされている。これにあわせて、関連する症例も 3 例程度ずつ提示されており、第 2 巻を読破すると 59 症例の診断治療を体験したことになる仕掛けになっている。「本書の使い方」には、「できれば 1 日 1 症例に限った方が良いでしょう」と著者からのコメントがある。しかし、実際に本書を読んでもみるとわかるが、紹介される知識や経験だけでなく、関連事項も確認しながら体験を重ねていくと、1 日 1 症例でも多いほどの分量がある。このため、手外科診療の経験が少ない読者の場合は、1 症例に数日かけてじっくり読む方がよいかもしれない。

最後になるが、合間に書かれているコーヒープレイクもなかなか秀逸である。「なるほどね!」というような豆知識もいつかきっと役に立つので、楽しみながら読み進めていただきたい。

今後刊行予定の第 3 巻も楽しみです！

さあ、皆で鳥谷部ワールドを体験しましょう！